

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (6)文化芸術の振興と文化交流の促進

(評価担当者)

市民文化部長 辻村 俊孝

■基本施策が目指す姿

市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。

■関連する分野別計画

亀山市文化振興ビジョン

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	亀山市芸術文化協会の団体数	団体	47	H27	43	40	38	35	26	50
2	亀山市芸術文化協会の会員数	人	728	H27	637	616	511	463	413	750
3	文化会館自主文化事業にかかる入場者数	人	16,746	H27	16,508	14,496	11,470	1,953	9,530	17,600
4	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	2,341	H27	1,515	1,100	1,108	773	753	2,500
5										

■市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度 0.69 満足度 ▲ 0.56	0.63 ▲ 0.64	0.63 ▲ 0.64	芸術や文化に対する満足度は低く、これまで文化年事業を始めとし、様々な文化施策を実行してきたが、市民の文化芸術に対する意識の向上に繋がっていないことから、市民に意識が浸透するよう取り組みを強化する必要がある。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			
5	重要度 満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	文化政策の基本的な考え方を示す文化芸術基本条例を令和3年12月に制定し、文化芸術推進基本計画を令和4年3月に策定した。また、かめやま文化年事業については、検証を行うとともに、記念誌を作成して関係機関に配布した。また、文化の拠点施設である文化会館においては、指定管理者である地域社会振興会を支援したことで、市民ミュージカルやアウトリーチ活動など、コロナ禍においても文化会館による交流事業が展開されたほか、施設面では、大ホールの緞帳子紐の取替工事など計画的に整備を進めたことで、市民の利用環境の向上を図った。一方、文化芸術活動については、市美術展、市民俳句会は規模を縮小して開催したが、成果指標において自主文化事業は増加したものの、他の指標である芸術文化協会の団体数や会員数等の数値が減少していることから、総合判定をBとした。
反省点・課題	
かめやま文化年2020の検証を行ったことで新たな文化年の検討材料を得ることができた。また、コロナ禍で活動する機会が減少した団体及び個人の発表の機会の提供や市内の歴史文化に触れる機会の提供を行うことができたものの、市民への浸透や事業の開催方法、また、コロナ禍での対応など市民が文化活動に関わる機会を更に創出していく必要がある。一方、芸術文化協会の団体数・会員数ともに減少するなど、市民レベルの活動が目に見える形で広がっておらず、担い手の育成にもつながっていない状況でもあることから、文化芸術に対する市民の活動意欲を高める取り組みやコロナ禍における新しい形での活動や実施方法の工夫など、事業内容を十分検討して取り組んでいく必要がある。これらを踏まえ、新たに制定した文化芸術推進基本計画に基づき、文化芸術に関する施策を計画的に推進していく必要がある。	

今後の展開方針

令和3年度に策定した文化芸術推進基本計画に基づき、市民が文化芸術活動に関わる機会をさらに広く創出していくため、文化芸術を生かした地域間・世代間の交流の機会の確保、市民団体への支援による文化芸術活動の促進、情報発信の強化、関係分野との連携を進める。またこれまでの「かめやま文化年」の検証結果に基づき、まちの賑わいや魅力の創出につなげる新たな「かめやま文化年」の開催に向け、事業内容の検討及び実施体制の整備に取り組むとともに、文化芸術推進審議会等の意見も聴きながら方向性などについて検討していく。また、文化の拠点施設でもある文化会館の安全確保と長寿命化を図り、市民の利便性向上につなげるため、計画的に機能整備を行っていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 文化政策の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
A	活動	かめやま文化年2020の開催年度である令和2年度に行った市民アンケートを分析するとともに、推進委員会を開催し、かめやま文化年2020の検証を行った。また、文化政策の基本的な考え方を示す文化芸術基本条例を令和3年12月に制定し、文化芸術推進基本計画を令和4年3月に策定した。	評価	コロナ禍で推進委員会の開催が限られたものの、かめやま文化年事業を検証することで、新たな文化年の検討材料を得ることができた。さらに、文化芸術基本条例の制定と文化芸術推進基本計画の策定により、今後、文化施策を総合的、計画的に推進していく考え方を市民に示すことができた。		
順調に進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	300 / 117	B	B
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	亀山市文化芸術基本条例の制定				A	A
	亀山市文化芸術推進基本計画の策定				A	A

施策の方向② 文化交流の促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
A	活動	かめやま文化年事業の記念誌を作成し、関係機関に配布した。また、文化会館の指定管理者である地域社会振興会を支援したことで、市民ミュージカル、アウトリーチ活動など、コロナ禍においても、文化会館による交流事業が展開された。	評価	記念誌を作成し、関係機関へ配布したことにより、文化芸術活動や文化交流の成果を広く市民に知ってもらい、参加した市民の自己実現による満足感や達成感の醸成が図られた。また、コロナ禍においても文化会館事業を実施できたことにより、様々な人や団体が文化に触れ、文化交流できる機会を創出することができた。		
順調に進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	300 / 117	B	B
	2010	地域社会振興会運営事業	標	3,665 / 3,516	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 文化の拠点づくり						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	文化会館大ホールの緞帳子紐取替工事及び雑幕取替工事を実施し、計画的に施設の整備を進めた。また、かめやま文化年事業で行った「かめやま街あかり」を継承し、文化会館にイルミネーションの点灯を実施した。	評価	工事の完了により、文化芸術活動の拠点としての文化会館の施設整備を進めることができた。また、「かめやま街あかり」を継承したイルミネーション点灯を行うことで、まちの賑わいの創出につなげた。一方で、日頃の文化芸術活動の成果を発表できる場の提供の検討については、令和4年3月策定の文化芸術推進基本計画に位置づけ取り組むこととした。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17057	文化会館等大規模改修事業	主	19,800 / 19,800	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	日頃の文化芸術活動の成果を発表できる市民ギャラリーの検討				B	B

施策の方向④ 文化芸術活動の活性化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】			
B	活動	市美術展、市民俳句会は規模を縮小して開催したが、市民川柳大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。また、亀山市芸術文化協会等の自主事業は開催が見送られたものの、文化会館事業による文化会館フェスタは、規模縮小で開催された。市内各小中学校に合唱指導やプロの演奏家を派遣するアウトリーチ事業を補助支援した。	評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動成果を発表する機会が少なからず失われたが、その一方で、規模の縮小、新しい形での活動、実施方法の工夫などによって、文化芸術活動が継続された。		
まずまず進んだ						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19074	一般事業(文化振興事業)	標	6,656 / 6,021	B	B
	19076	市展開催費	標	2,950 / 2,491	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果